

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1282
施設名	国立たいよう保育園
施設所在地	東京都国立市富士見台2-13-10
法人名	社会福祉法人まあれ愛恵会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

かたち

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
・ 普段の保育の中でもブロックや積み木など積む、組み合わせる等、自由な発想で遊びを展開している。いろいろな素材を使って新たな視点から遊びの広がりを目的とした。

2. 活動スケジュール

10月 かたちの組み合わせ (図形)
1月 かたちの変化 (影)
3月 かたちの変化② (鏡、スタンプ)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
・ ライトテーブル、アクリル積み木、ミラーマット、動物ミラー、クリアブロック、砂場セット、ペイントセット、布大型積み木 等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・ 色々なかたちに触れる、重ねる、積む、合わせる、写す等、形の変化に作用するものと環境を合わせ、見立てや変化を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・10月の組み合わせではアクリル積み木をライトテーブルの型に合わせて組み合わせていく。大小の三角、正方形、長方形、半円などを自由に組み合わせる。乳児クラスはできたかたちを「お家」「魚」等見立て遊びが展開された。幼児クラスではかたちだけでなく色の変化や厚さ等違いを見つけたり組み合わせで違いをつくる姿が見られた。
- ・1月は幼児クラスで影を使ったかたちの変化を楽しむ。ラキューやブロックを組み合わせたものを光にかざし、変化を見ていた。大きさの変化に興味が高まり、位置を変えながらどこにかざすと一番大きくなるか？試行錯誤する姿が見られた。自身でつくったものから、身近にあるものの変化に興味が高まり、園内を探し回りながら色々な変化を楽しんだ。
- ・3月は鏡を使った形の変化を楽しむ。鏡の中に写る、対のブロックや玩具が鏡の面につくと2つにくっつき大きくなる。離すと元に戻る。乳児クラスではくっつける離すの繰り返しを楽しむ姿が見られた。
- ・様々な種類のかたちスタンプやローラーで絵の具を使いできる形を想像しながら使い色が重なる部分の変化、絵の具を多くつける、少なくつける等工夫をしながら製作していく様子があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・幼児クラスでは子どもたちの見立て遊びは、かたちの活動を行ってからより複雑なものになり、子ども同士で設定をつくって遊んでいる。
- ・影の活動では、用意されたものから、自分でやってみたいもの、に変更するとスリッパ、鉛筆削り機、電車の玩具等、思い思いの物を照らしては幼児クラスでも見立て遊びが始まった。